

地域の絆を 次世代につなげるために

本会議における我が会派の代表質問のあらまし

平成 24 年
第 1 回 定例会 が
開催 され ました。

この定例会では、4つの常任委員会の他、予算特別委員会が開催され、平成24年度予算の審議がなされました。また、会派を代表して田中さとし議員が山崎区長・横山教育長に対して代表質問を行いました。



地域の絆・つなぐりの重要性について

代表質問を行う田中さとし議員

●東日本大震災の際には、墨田区においても町会・自治会といった、まちのつながりが大いに機能したと思う。その様な点からも「すみだ」というまちの地域特性を活かすこと、「すみだ」ならではの地域の絆をさらに育んでいくためには、区が担う役割も重要なのではないかと、地域コミュニティの強化に関する区の積極的な姿勢を求めました。

●地域のつながりと学校選択制は両立するのか？一見、相反するように見えるが。地域も大変危機感を持っている。そこで、学校選択制度と地域の絆との関係をどのように捉え、進めていこうとしているのか、と区の姿勢を問いました。

すみだの観光・まちづくりについて

●スカイツリーへの区民招待や我が会派の主張したスカイツリーの3月10日、11日の慰霊・鎮魂のライトアップが実施できたことについては、区の取り組みを評価しました。

●区内循環バスは、もっとPRして周知することが乗車率を高めることにつながる。そこで、多くの区民や観光客に乗ってもらい、その便利さを実感してもらうため、5月19日20日の区民祝賀イベント当日の区内循環バス無料開放を提案しました。

●両国地域のまちづくりについては、両国公会堂の活用方法の早期決定や相撲協会との連携等も重要になってくると思うので、この点についても勘案しながらまちづくりを進めるよう要望しました。

●建設予定の吾妻橋防災船着場について、平常時は積極的に観光に活かすことを提案しました。

学校の課題について

●一クラス40人から35人になったが、この変更が学校適正配置に影響はしないかを確認しました。

●放課後の子ども居場所づくりの一環として、平日の校庭解放を推進しているが、この事業は地域の支えがあってこそ実施出来る。この点を考慮して、事業が長続きするよ様な地域への支援の必要性を訴えました。



吾妻橋防災船着場
予定地



区内循環バス（写真は電気バスのすみりんちゃん）



両国公会堂



江戸博と両国国技館

区政報告会を開催しました。

2月14日にすみだ女性センターにおいて、会派主催の区政報告会を開催しました。当日はあいにくの雨にもかかわらず、120名を超える方が足を運んでくださいました。

報告会では、区議会の仕組みや会派についての説明など、皆さん熱心に聴いてくださいました。今後も、このような、報告会を定期的で開催していく予定です。

